



北広島町 定住者の声

▲約60頭いる牛舎でペットの黒ヤギと一緒にパチリ。たくさんの動物に囲まれた生活を、心から楽しんでいるお二人。農場経営についてお父さんと意見が衝突することも。そんな時、美江さんをなだめるのは優しくて穏やかな務さん。実は地元の中高一貫校の同級生とのこと。地元に戻ってきた美江さんはUターン、鳥根県瑞穂町出身の務さんはJターン。

移住のきっかけは？

祖父の代からの酪農を両親が継いでこれまでやってきたんですが、2年半前のある日、両親が『酪農をやめようと思う。』と言い出したんですね。私たち夫婦は当時結婚して15年、尾道市内でマンション暮らし。主人は自動車整備士、私は検査技師として病院勤務だったんです。実は、昔この牧場が火事になったことがあって一度再建してるんですね。そこからたった20年しか経っていないのに、ここでやめてしまうなんてもったいないと思ったんです。自分で何とかできないかと。主人に相談して、最初は夫婦別々の生活も考えたりしたんですけど、最終的には『一緒にやろう。』と言ってくれたんです。息子もこの実家が大好きでいてくれたことも帰るきっかけのひとつになったかもしれませんね。(美江さん)



▲牛もみんなそれぞれ性格が違って面白んだとか。

良かったこと・苦労したことは？

僕は奥さんより2ヶ月遅れの10月に移住して来たんですが、ちょうどその時期が牛の飼料稲の刈取り時期だったんです。酪農の右も左も全くわからない状態の中で、嫁さんのお父さんに怒られながらコンバインの運転をさせられてました(笑)。最初は牛自体に慣れてないので、怖かったですよね。今は、乳搾りも練習の甲斐あって上手になりましたよ(笑)。種付け(人工授精)もするようになりましたしね。(務さん)



🐾 幸せを感じるひときは？

牛はもちろんですが、犬、猫、山羊も飼っているんです。かわいい動物たちに癒されていますよ。前はほんとにバタバタの生活を送っていましたからね。今思えばお互いの休みも合わず、一緒に過ごすゆっくりした時間があまりなかったですからね。今はたまに二人で平日ランチに行くんですよ。数時間、両親に任せて二人で出掛けられるのも、家族で経営しているメリットですよ。近所に雰囲気のあるbarも出来たしね。（※近所とはいえ遠い）もう少し、近くにいろいろとあれば歩いて帰れるのになあとは思いますがけどね（笑）。

🐾 北広島町の魅力を教えて？

こっちに帰ってきて酪農を始めていろんな人と出会う中で、意外とIターンの若い方が多いことに気付いたんです。若者が住みたいと思う魅力ある町なんだなあと感じますね。堆肥の注文を受けて現地へ行ってみると、農業をするために市内から通っているんだという方も結構多いですよ。最近は若い方からの注文が増えて、嬉しいですね。若い人が農業に関心を持って頑張っているのを見ると、自分たちも頑張らなきゃなあと思いますね。

🐾 ご近所とのおつきあいは？

やっぱり都会と比べると地元の方とのかかわりは大きくて濃いですね（笑）。仕事に限らず、地元の行事やイベント事なども大事にしたいですね。地元の方たちはとってもアットホームですよ。

🐾 移住を検討している方へのメッセージ

今はどこもそうだと思いますが、若者の後継者不足で農業をしている人の高齢化が目立ちますよね。広い土地も農地もあるし昔ながらの農業をするなど、自分の可能性を広げるにはもってこいの場所だと思いますよ。何かやってみたいことがある人は、恐れず挑戦してみてもらえたら嬉しいですよ。



▲『毎日接していると、表情で体調や気持がわかるんですよ。』と務さん。



▲珍しい!?牛柄カップ。



▲美江さんは、農林水産省が推進する『農業女子プロジェクト』のメンバーの一人。



▲美江さんのご両親と弟さん、家族みんなが携わっている福原牧場。

ふくはら つとむ
福原 務 さん 40代
みえ
美江 さん 40代
しょう
翔 くん 10代
移居前：広島県尾道市
現住所：北広島町西宗
移住年月：平成25年8月